

## 内水対策に関する主な取組

町では、令和元年8月、令和3年8月の大雨による浸水被害を受け、現在、国・県・町および六角川流域自治体が一体となって内水対策に取り組んでいます。

ここでは大町町内で実施される内水対策に関する主な取組内容について紹介します。

### 大町町の取り組み

#### 取組の柱

##### 人命等を守る

- 各排水機場への避難用ポート設置
- 農業機械の避難
- 避難所等の充実
- 地域の防災力向上
- 人命第一、逃げ遅れゼロに向けた情報発信システム等の整備 など



##### 内水を溜める

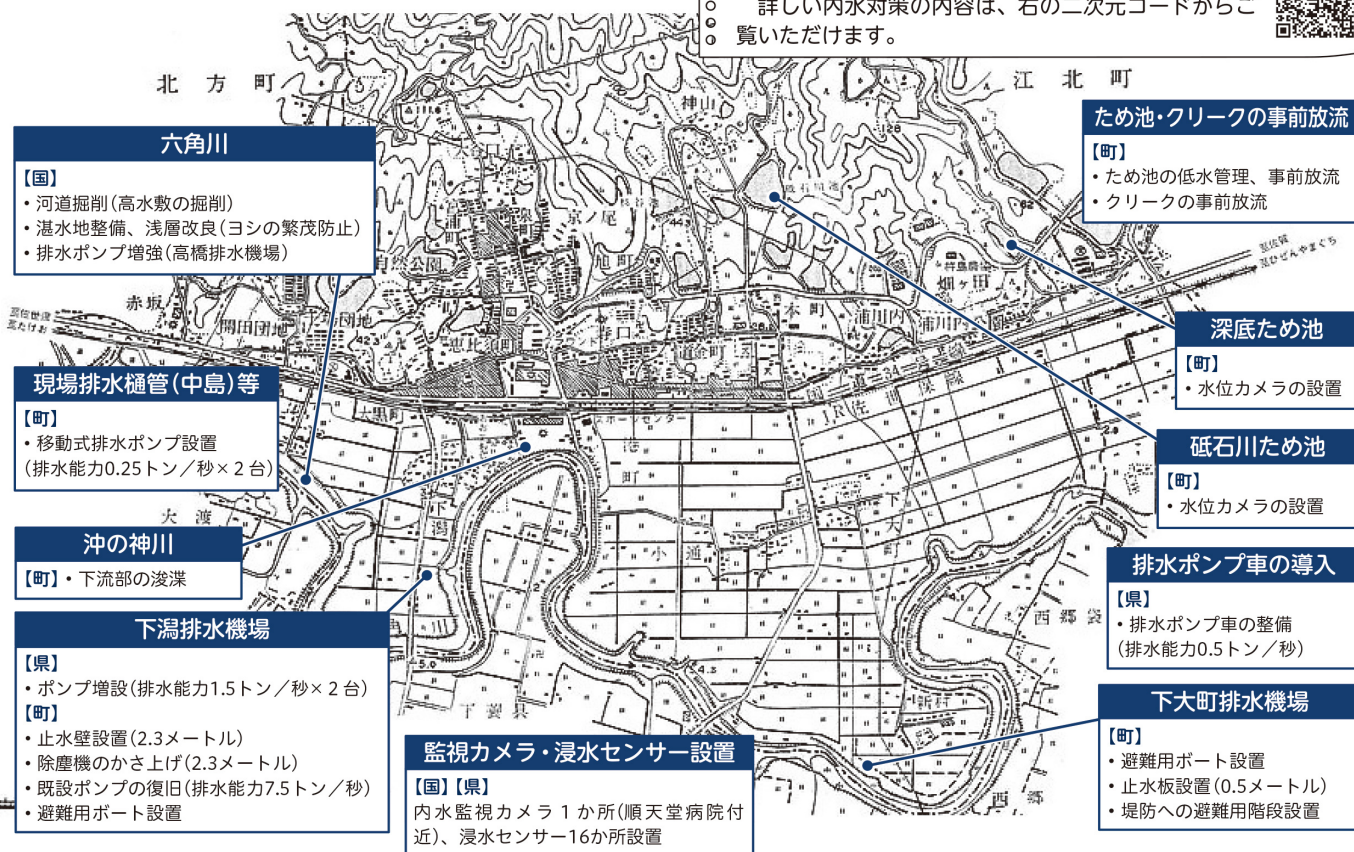
- 仏法ため池洪水調整施設整備
- ため池の既存施設の有効活用
- クリークを活用した雨水貯留容量の確保 など

##### 内水を流す

- 排水機場の増強・耐水化対策
- 移動式排水ポンプ導入
- 主要水路の浚渫 など

##### 気候変動に対応した内水対策

町では、町民の人命や財産を守り、町内での床上浸水“ゼロ”の実現を目指し、短期中期長期的な取り組みを国や県、流域市町と連携しながら内水対策を進めています。詳しい内水対策の内容は、右の二次元コードからご覧いただけます。



## 「広報 おおまち」で振り返る 豪雨災害の記録



下瀉地区一帯が浸水した当時の被害の大きさを物語る写真が表紙に。ページを開くと、水害により変化したふるさとの状況が映し出されている。



2019年9・10月合併号  
令和元年8月豪雨災害緊急特集  
『豪雨襲来の記録』



災害からの復旧・復興を支えるために全国各地から集結した支援団体の皆さんの集合写真が表紙を飾る。ページを開くと、表紙と同じ場所の浸水被害の様子が比較写真となっている。



2021年9・10月号合併号  
令和3年8月豪雨 特集  
『顔をあげて、一歩ずつ前へ』